

## 第51回認定 構造改革特別区域計画の概要

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共団体名)	特区の名称	特区の区域 の範囲	特区計画の概要	特例措置の番号	特例措置の内容
<b>新規計画 7件</b>							
1	福島県	国見町	国見どぶろく特区	福島県伊達郡 国見町の全域	国見町は、古くから農業が基幹産業であるが、宿泊施設や飲食施設の数少なく、観光客の滞在時間が短いため、消費金額も少ない等の問題を抱えている。特例措置を活用することで、農家レストランや農家民泊の開業が増加し、多くの観光客を受け入れることによって、農産物の消費・販売拡大、農家・観光の活性化につなげ、雇用機会の創出と新たな担い手の確保を図る。	707 (708)	特定農業者による特定酒類の製造事業
2	埼玉県	北本市	北本市トマトリキュール特区	北本市の全域	北本市は、戦前、日本一と称賛された石戸トマトを生産していたが、これまでベッタウンとして発展してきた経緯から、地域に起源をもつ基幹産業が育ちにくく、高齢化等を理由として農業の衰退が懸念されている。近年、北本トマトカレーやトマト大福といった北本トマトを通じた地域活性化の取組が活発になっている。そのため、特例措置を活用して、北本トマトを原料とするリキュールを製造することで北本トマトを軸とした農商連携を促進し、持続可能な生産消費形態を確保して地域産業の発展を図る。	709 (710,711)	特産酒類の製造事業
3	福井県	福井県	ふくいワイン特区	福井県の全域	福井県は、古くから稲作栽培が盛んであるが、県内農地の4割を占める中山間地域では高齢化の進展に伴い、地域農業の担い手の確保が困難となっている。福井県では、ふくいワインカレッジを開講し、ワイン農家の人材育成に努めており、特例措置を活用することで、中山間地域の耕作放棄地を活用して、地域の新たな特産物であるぶどうを原材料とした「ふくいワイン」を製造し、新規就農者の増加、農家所得の増大、ブランド価値の向上、ワイン・ツーリズムによる観光振興、交流人口の増加等を図る。	709 (710,711)	特産酒類の製造事業
4	長野県	佐久市	もちづき版「HYGGE」どぶろく特区	佐久市の区域の一部(望月地区)	佐久市の望月地区は、水稻・野菜・畜産が盛んであるが、就農者の高齢化が進み、農家の担い手確保が深刻となっている。望月地区では、地域性を生かしたHYGGE的志向(豊かな自然に身を置き、地域にあるものや住民同士のつながりを大切にしながら自分らしい暮らしを楽しむ地域文化や地域住民の気質)により、移住者と地域住民が連携し、この暮らしを地域資源とするまちづくりに取り組んでいる。特例措置を活用することで、地域の魅力向上、HYGGE的志向による「暮らすような滞在」の創出を図り、交流・定住・関係人口の増加を図る。	707 (708)	特定農業者による特定酒類の製造事業
5	長野県	中川村	中川村ワイン特区	長野県上伊那郡中川村の全域	中川村は、りんご、ぶどう、ナシ、もも、柿等の多様な果樹作物を生産しているが、高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加といった諸問題を抱えている。長野県が推進する「信州ワインバレー構想」と連携し、特例措置を活用することで、果実酒(ワイン・シールド)を少量から製造でき、農家の経営の安定や担い手の確保を図り、持続可能な農業を目指して地域の活性化を図る。また、小さな村の小さなワイナリーとして認知度の浸透を図ることで、村のブランドイメージを向上させる。	709 (710,711)	特産酒類の製造事業
6	愛知県	設楽町	設楽のどうまいコメで酒づくり体験特区	愛知県北設楽郡設楽町の全域	設楽町は少子高齢、産業の担い手の減少といった過疎化現象が顕著な中、主たる観光資源である国指定重要無形民俗文化財などの伝統芸能、森林や河川といった自然環境は、地域の経済を動かすほどの力はなく、町の認知度は低い。設楽町では、国土交通省による設楽ダムの建設計画に伴い、新たな道の駅の整備などダム湖周辺の振興施策が進んでいる。特例措置を活用することで、地元産の米をコンセプトに観光客の来訪を促し、町の認知度とブランド力を向上させ、観光交流人口の増加へと繋げ、地域の活性化を図る。	712	清酒の製造場における製造体験事業
7	島根県	江津市	GO▶GOTSU!リキュール特区	江津市の全域	江津市は、平地が少なく複雑な地形となっており、限られた面積の中での高付加価値の農作物の生産が求められる。また、高齢化による放置果樹も問題となっている。江津市には、地元の少量農産物等を活用したクラフトビールメーカーがあり、独自の醸造技術「石見式醸造法」は全国に広がっている。特例措置を活用することで、メーカーがノウハウを活かした地域の特産物(桑、はちみつ、ブルーベリー等)によるリキュール製造参加が容易となり、農産物の高付加価値化、放置果樹の活用を図り、6次産業化による地域全体の活性化を目指す。	709 (710,711)	特産酒類の製造事業